



## 第1章 観測所と共同利用

50年代  
60年代  
70年代  
80年代  
90年代

サイト調査

最近の観測環境

観測実施率

“岡山天体物理観測所立ち上げ期” 清水 実

プログラム会議とプログラム小委員会

岡山188cm望遠鏡の共同利用の変遷

観測実施件数の変遷

“岡山からハワイへ” 小平 桂一

“国際的に見た岡山天体物理観測所について” 寿岳 潤

M27

こぎつね座にある惑星状星雲で、1000光年の距離にある。筋肉トレーニングに使う鉄アレイの形に似ていることから、あれい状星雲とも呼ばれている。惑星状星雲という名は、小口径の望遠鏡で見たときに、惑星のような形に見えることからつけられたが、実際は、太陽と同じくらいの質量を持った星が、進化の最終段階に放出したガスの雲である。星雲の中心には、もとの星の芯が残って見えている。写真は陰画で、向かって上が北、右が西。

撮影期日：1964年6月15日、露出：30分、乾板：103aO、フィルター：なし、現像：Pandol